

ココが竹鼻小学校の英語のウリ!

「キーワード」を軸に、内容も言語も深まる言語活動を行っています!

外国語科部の研究主題

仲間と関わり合いながら、互いに考えや気持ちを伝え合う子どもの育成

主張点①

「キーワード」を軸にした指導方法の工夫

外国語科部では、キーワードの捉えを「教師が目指す姿を明確にして、目的や場面、状況に応じて、情報を整理しながら考えなどを形成したり、再構築したりするための言葉」とした。

指導案において **本時のキーワード**
(自分のおすすめの国を紹介するために)相手の興味、推し力、内容

実際の授業で

☆の観点	「推し力」	「内容」	「相手意識」
キーワードを示すことで、伝えなくてはいけないことや、聞かなくてはいけないことが明確になっています。	・ I want to~	・ You can~	・ Do you like~
	・ I want to go to~	・ It's~	・ reaction
	・ 写真		・ What do you like~
		星の数を増やすにはどうすればよいか?	

主張点②

対話を広げていくための学習過程の工夫



Share Time の時間を設けて、対話活動を広げていくようにしています。



成果と課題

- 繰り返し練習をして臨むことで、ほとんどの子が自信をもって英語を話すことができた。
- Share Timeを位置づけることで、表現の幅が増えて対話活動が活発になった。
- 子どもたちが振り返りをする中で、振り返る視点を具体的に示すことができるとよかった。

掲載資料

- ① 研究構想 ② 学習指導案(1年、2年、4年、6年)

研究主題

仲間とともに、自らの学びを深める子どもの育成

子どもの実態

- ・ALT と積極的に関わろうとする姿が見られ、歌やゲームなどの活動に楽しんで取り組むことができる。
- ・相手の伝えたいことを一生懸命に理解しようとする姿がある。
- ・既習表現を駆使して、自分の気持ちや考えを伝えることに弱さがある。
- ・目的・場面・状況等を意識して伝えたい内容を適切に選んでコミュニケーションを図ることに弱さがある。

本校における外国語科で育みたい資質・能力のとらえ

- ・目的意識や相手意識をもって積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度。
- ・目的・場面・状況等を意識して、伝える内容や適切な表現を選択し、考えや気持ちを伝え合う力。
- ・仲間との対話から、話の概要や要点を聞き取る力。
- ・外国語の音声や文字、表現など日本語と外国語との違いを理解する力。

願う子どもの姿

- ・本時目指す姿を理解し、粘り強くコミュニケーションを図ろうとする姿
- ・既習表現を駆使して、自分の考えや気持ちを伝えようとする姿
- ・コミュニケーションを行う目的・場面・状況等を意識して、伝える内容を適切に選んで仲間と対話する姿

外国語科部の研究主題

仲間と関わり合いながら、互いに考えや気持ちを伝え合う子どもの育成

研究仮説

言語活動の目的や場面、状況等を適切に設定し、既習表現を用いたり表現内容を工夫したりできるような指導・援助を行えば、互いに考えや気持ちを伝え合う子どもが育つ。

研究内容

- 1 教科の本質に基づく「キーワード」の設定及びそれを軸とした授業設計
単位時間ごとの役割（位置付け）に応じたキーワードの設定

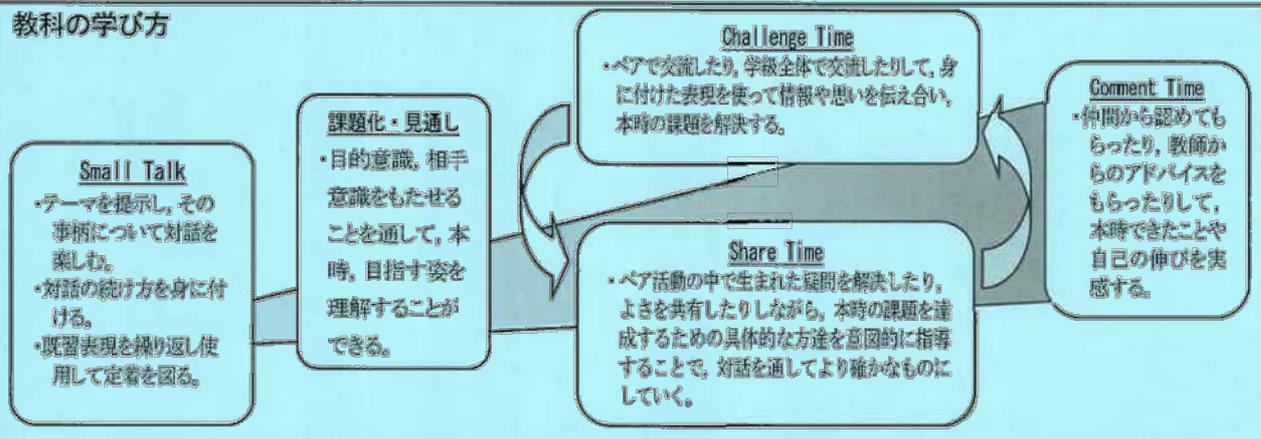
キーワードの捉え

目的や場面、状況に応じて、情報を整理しながら考えなどを形成したり再構築したりするための言葉

- 2 「キーワード」を軸にした指導方法の工夫

- (1) 「やってみよう」と思える言語活動の目的や場面、状況等の設定の工夫
- (2) 対話を広げていくための英語表現や内容を全体で交流する場（Share Time）の設定

教科の学び方



【外国語科 指導のポイント】

仲間と関わり合いながら、互いに考えや気持ちを伝え合う子どもの育成

1 研究内容1にかかわって

単位時間ごとの役割（位置付け）に応じたキーワードの設定

本校におけるキーワードとは、「単位時間や単元の学習で、その言葉を意識することにより学びが深まったといえる言葉」である。外国語科部では、キーワードの捉えを「教師が目指す姿を明確にして、目的や場面、状況に応じて、情報を整理しながら考えなどを形成したり、再構築したりするための言葉」とした。目的の達成のために、子どもが表現する情報や考えなどを試行錯誤する過程が深い学びであると考え。そのために、交流の際に言語面と内容面の指導を行う。また、キーワードを子どもに提示する際には、（目指す姿を達成するため、（本時につけたい力）を意識してキーワードを提示する。

例) おすすめの国の紹介の(活動の目的)のために相手のニーズに合わせて活動をする(本時につける力)

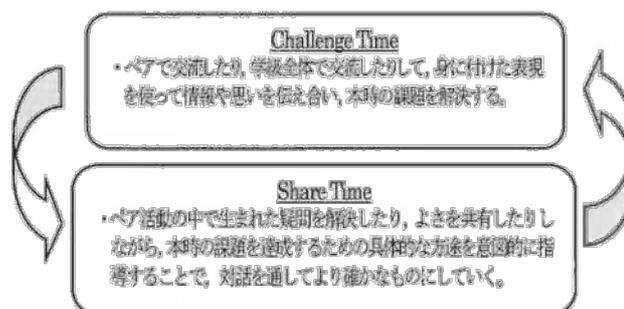
2 研究内容2にかかわって

(1)「やってみたい」と思える言語活動の目的や場面、状況の設定の工夫

何のために、どのような場面で、どのような状況で行われるコミュニケーションであるかを設定することは、外国語を使用する具体的なシチュエーションを子どもに思い描かせ、目的をもって取り組むことにつながり、主体的な姿勢を生み出すことができると考える。例えば、5年生 Lesson2 「When is your special day?」の学習では、単元の目標を「相手のことをよく知るために、誕生日や特別な日、好きな物や欲しいものを伝え合ったりすることができるようになる。」と設定した。そこで、誕生日を伝え合えるようになるために、新年度に子どもがクラスの仲間の誕生日を知りたがっていたことをもとにして、「新しいクラスの誕生日表を作る」活動を設定した。子どもの興味・関心を大切にして目的や場面、状況を設定し、活動意欲を引き出すようにした。

(2) 対話を広げていくための英語表現や内容を全体で交流する場（Share Time）の設定

対話活動に取り組む中で、Share Time を何度か設け、本時の課題達成のための具体的な方法を意図的に指導している。



Share Time は、子どもの中から生まれたよさや疑問を広めたり、指導したことを意図的に位置付けたりする機会としている。Share Time で指導する内容の例を以下に示す。

5年生 Lesson2 When is your special day?での指導
T: Aさんが You like dogs. と言った後に What dogs do you like? と関わらせて質問していたよ。もし、Bさんが I like sports. と言ったら何と返しますか?
Ks: You like sports. What sports do you like?
T: That's good.

5年生 Lesson8 I love my town.での指導
K1: 「屋台で食べ物を買える」ってどう言うの?
T: 買うのは誰?
K1: I
T: 知っている表現を使ってどのように言う?
K1: I can buy foods.
T: 「屋台」はどうする?
K2: 知っているよ。street shop って言うよ。
T: C2さん Thank you! じゃあ、Aさん英語で言うてみて。
C1: I can buy foods at street shops.
T: That's good. じゃあ、みんなで言うてみよう。

1年1組 外国語活動学習指導案

1 単元名

いろであそぼう

2 単元指導計画 (全3時間)

〈研究内容1にかかわって〉

本単元では、学級の仲間と好きな色や嫌いな色を伝え合い、単元の終末で「1-1学級目標ステッカー」に用いたい配色を決める活動を行う。みんなの色の好みを知り、配色を決めていくために情報を集めていく、という学習の見通しをもちながら、単位時間ごとに設定されたキーワードによって、活動の目的や内容の理解をより深められるようにしていく。

評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
日本語と英語の音声の違いに気付き、色の言い方や、好きか嫌いかを尋ねたり答えたりすることに慣れ親しんでいる。	好みの色の組み合わせを見つけるために、相手に伝わるように工夫しながら、配色について尋ねたり答えたりして伝え合っている。	「1-1学級目標ステッカー」をつくるために、配色の好き嫌いについて尋ねたり答えたりしようとしている。

時	学習のねらい 【キーワード】	学習課題及びまよめの例	評価規準 (方法)
1	<p>ゲームを通して、色を表す日本語と英語との音声の違いに気付き、“I like ~ / I don't like ~.” という表現を用いて、好きな色や嫌いな色について話すことができる。</p> <p>【色の言い方を知るために、 ゆっくり はっきり うんうん】</p>	<p>1 Hello Time 2 Small Talk 3 Today' s Aim</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">色の言い方を知ろう。</div> <p>4 Challenge Time and Share Time 5 Comment Time</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・英語での色の言い方がわかって、よかった。 ・自分の好きな色やきらいな色を話すことができた。 </div>	<p>・日本語と英語の音声の違いに気付き、色の言い方や、好きな色や嫌いな色について話すことに慣れ親しんでいる。</p> <p>【知識・技能】 (対話、行動観察、プリント)</p>
2	<p>「好きな色ランキング」をつくるために、その色が好きか嫌いかを尋ねたり答えたりして伝え合う活動を通して、“Do you like ~?” “Yes, I do. / No, I don't.” の表現に慣れ親しみ、情報を集めることができる。</p> <p>【1-1 好きな色 ベスト3を決めるために、 ゆっくり はっきり うんうん】</p>	<p>1 Hello Time 2 Small Talk 3 Today' s Aim</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">「1-1 好きな色ランキング」 人気のある色を調べよう。</div> <p>4 Challenge Time and Share Time 5 Comment Time</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・たくさんの子と話せてよかった。 ・仲間の、色の好みが変わって、よかった。 </div>	<p>・“Do you like ~?” “Yes, I do. / No, I don't.” の表現を用いて、色について好きか嫌いかを尋ねたり答えたりすることに慣れ親しんでいる。</p> <p>【知識・技能】 (対話、行動観察、プリント)</p>
3		本時	

3 本時の展開 (3/3時)

<p>本時のねらい</p>	<p>「学級目標ステッカー」をつくるために、その色の組み合わせが好きか嫌いかを尋ねたり答えたりして伝え合う活動を通して、色の言い方や、“Do you like ~?” “Yes, I do. / No, I don't.” の表現に慣れ親しみ、仲間についての情報を集めることができる。 (思考・判断・表現)</p> <p>本時のキーワード 「1-1 学級目標ステッカー」の、色の組み合わせナンバー1 を決めるために、 かくにんしながら ゆっくり はっきり</p>		
<p style="text-align: center;">学 習 活 動</p> <p>1 Hello Time</p> <ul style="list-style-type: none"> 挨拶をして、英語学習に向かう雰囲気づくりをする。 Color Song <p>2 Small Talk 話題：色のクイズ</p> <p>3 Today's Aim</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>「1-1 学級目標ステッカー」の、色の組み合わせナンバー1 を決めよう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> 「1-1 がつきゅうもくひょうステッカー」をつくるために、本時は学級の仲間に、好きな色の組み合わせ (3色) のインタビューをして、情報を集めることをおさえる。 13色の中から3色を選んだ配色パターン (13通り) を選択肢とする。 <p>4 Challenge Time and Share Time</p> <ul style="list-style-type: none"> 色の言い方や、“Do you like ~?” という質問の表現、“Yes, I do. / No, I don't.” と答える表現の言い方、“I like ~.” の伝え方に慣れる。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%; vertical-align: top;"> <p>AB: Hello. A: Do you like <u>blue</u>? B: Yes, I do. I like Dragons A: OK. Do you like <u>white</u>? B: No, I don't. A: No? OK. Do you like <u>red</u>? B: Red? Yes, I do. I like apple. A: OK. AB: See you.</p> </td> <td style="width: 40%; vertical-align: top; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>red, yellow, green, blue, pink, purple, brown, orange, black, white, gray, light blue, yellow green</p> </td> </tr> </table> </div> <ul style="list-style-type: none"> インタビューすることになった配色パターンについて、好きか嫌いかを相手に尋ねて、それに答えてもらう、という対話を繰り返す。 各配色パターンを2人で担当する。集めた情報から、好きと答えた人数を算出し、学級の中で順位をつけたり、予想と結果を比べてみたりする。 好きな場合は、その色から連想するものを“I like ~.” で1文付け加える伝え方も紹介する。 Share Time の時間に、仲間のよい姿や表現を学級で共有し、Challenge Timeにつなげる。また、さらに使えるとよい表現があれば確認する。 <p>5 Comment Time</p> <ul style="list-style-type: none"> 本時できたことを振り返ったり、できていた姿を価値付けたりする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> 楽しくゲームができたし、たくさんの子と話せてよかった。 人気のある、色の組み合わせがわかって、うれしかった。 相手の好きな色やきれいな色が、わかった。 </div>	<p>AB: Hello. A: Do you like <u>blue</u>? B: Yes, I do. I like Dragons A: OK. Do you like <u>white</u>? B: No, I don't. A: No? OK. Do you like <u>red</u>? B: Red? Yes, I do. I like apple. A: OK. AB: See you.</p>	<p>red, yellow, green, blue, pink, purple, brown, orange, black, white, gray, light blue, yellow green</p>	<p style="text-align: center;">研究にかかわって</p> <p>〈研究内容1にかかわって〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 「学級目標ステッカー」をつくるために、「その色の組み合わせが好きかどうかを“Do you like ~?” “Yes, I do. / No, I don't.” の表現を用いて尋ねたり答えたりして伝え合うこと」を目指すので、色の表現に前時までに少しずつ慣れ親しみ、本時でそれらを使って「かくにんしながら」「ゆっくり」「はっきり」やり取りを示す。 <p>〈研究内容2にかかわって〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 3色を組み合わせた「学級目標ステッカー」をつくるという目的で、その配色が好きかどうかを尋ねたり答えたりするという場面において、学級の半数の仲間の情報を自分が集めなければならないという状況の中、だれもが確実に相手を意識し、仲間と進んで対話ができるようにする。 相手の言った色の名前を繰り返して言ったり、相づちを打ったりしている姿など、仲間のよい姿や表現から学ぶ場を設け、よきを取り入れて対話できるようにする。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>評価規準</p> <ul style="list-style-type: none"> 好みの色の組み合わせを見つげるために、相手に伝わるように工夫しながら、配色について尋ねたり答えたりして伝え合っている。 <p>【思考・判断・表現】 (対話、行動観察、プリント)</p> </div>
<p>AB: Hello. A: Do you like <u>blue</u>? B: Yes, I do. I like Dragons A: OK. Do you like <u>white</u>? B: No, I don't. A: No? OK. Do you like <u>red</u>? B: Red? Yes, I do. I like apple. A: OK. AB: See you.</p>	<p>red, yellow, green, blue, pink, purple, brown, orange, black, white, gray, light blue, yellow green</p>		

2年2組 外国語活動学習指導案

1 単元名

What animal do you want?

2 単元指導計画 (全3時間)

(研究内容1にかかわって)

単元の終末では、自分の好きな動物を仲間に伝え、オリジナルの動物園をつくることを目標とする。仲間に伝えるためには何を伝えればよいのか、そのためにはどのように話せばよいのかを自分たちで考え、授業のめあてと定める。その目標を達成するために学級全体でどんなことをすればよいのかをキーワードとして考える。キーワードを授業の軸とすることで児童たちの目標が明確にできるようにする。

評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
動物の名前について、“What animal do you want?” “I want ~.” “~ please.”を用いて欲しいものを探ねたり答えたりすることに慣れ親しんでいる。	自分のオリジナル動物園をつくるために、相手に伝わるように工夫しながら、好きな動物や欲しい動物を探ねたり答えたりして伝え合っている。	自分のオリジナル動物園をつくるために、相手に伝わるように工夫しながら、動物について、好きな動物や欲しい動物を探ねたり答えたりして伝え合っている。

時	学習のねらい 【キーワード】	学習課題及びまどめの例	評価規準 (方法)
1	日本語と英語の音声の違いに気付くとともに、動物を表す言い方を知る。 【たくさん動物の名前を知る・自信をもって言う】	1 Hello Time 2 Small Talk 3 Today 's Aim たくさんさんの動物の名前を英語で言ってみよう。 4 Challenge Time and Share Time シルエットクイズ おはじきゲーム 5 Comment Time たくさんさんの動物の名前を楽しく英語で言うことができた。	・動物の名前をクイズやゲームを通して言うことができる。 【知識・技能】 (発音、行動観察)
2	動物の名前の言い方に慣れ親しみ、自分の好きな動物を伝えたり、探ねたりする。 【自信をもってきはきと話す・たくさんリアクションする】	1 Hello Time 2 Small Talk 3 Today 's Aim 自分のペットにしたい動物を仲間にたくさん伝えよう。 4 Challenge Time and Share Time 自分のペットにしたい動物を交流(ペア交流) アンケートゲーム(スクランブル交流) 5 Comment Time 自分のペットにしたい動物を伝えたり、仲間のペットにしたい動物を伝えたりすることができた。	・自分の好きな動物を仲間に伝えるために、“What animal do you want?” “I want ~.”などの表現を使いながら仲間と交流することができる。 【知識・技能】 (行動観察)
3		本時	

3 本時の展開 (3/3時)

<p>本時のねらい</p>	<p>みんなに来てもらえる自分のオリジナル動物園をつくるために, "What animal do you want?", "~ please."を使って, 自分の欲しい動物を伝えることや相手の欲しい動物は何かを尋ねたり答えたりして伝え合う。</p> <p>(思考・判断・表現)</p>
	<p>本時のキーワード</p> <p>みんなに来てもらえる自分のオリジナル動物園をつくるために, はきはき(自信をもって話す), にこにこ(明るく話す・聞く), うんうん(反応しながら聞く)</p>
<p style="text-align: center;">学 習 活 動</p> <p>1 Hello Time</p> <p>(1) 今日の日にもち, 曜日, 天気を確認する。</p> <p>(2) Singing a song</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Seven steps を歌う <p>2 Small Talk</p> <p>(1) 前時の復習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 動物の名前クイズをする。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>T: What is this? S: It is oo.</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 様々な動物の名前が英語で言えるように思い出す <p>3 Today's Aim</p> <p>(1) JTE との対話で課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>みんなに来てもらえるオリジナルどうぶつ園を作ろう。</p> </div> <p>(2) オリジナル動物園で自分の欲しい動物を決める。</p> <p>4 Challenge Time and Share Time</p> <p>(1) お店屋さんとお客さんに分かれて, 自分の欲しい動物を集めていき, 途中で役割を交代する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(全体のルール)</p> <p>① 同じ仲間から動物カードを買わない。</p> <p>② 5種類の動物カードを買うことができる。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 多くの児童と交流することができる。 ・ 自分の好きな動物を仲間に伝えることができる。 <p>(2) 難しかったところやできなかったところを仲間と交流してペアで練習する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>AB: Hello. A: What animal do you want? B: oo please./ I want oo. A: Here you are. / Sorry, it's sold out. B: Thank you. (交互に行う)</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 良かったところを全体に伝える。 <p>(3) 再度交流する。</p> <p>(4) プリントに貼り付ける。</p> <p>(5) オリジナル動物園を発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 動物の名前を英語で話す。 <p>5 Comment Time</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 仲間と交流をしてみてどうだったか, 今日の授業の感想を発表する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の好きな動物を集めて動物園を作ることが楽しかった。 ・ 仲間のオリジナル動物園を知ることができてうれしかった。 </div>	<p style="text-align: center;">研究にかかわって</p> <p>〈研究内容1にかかわって〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ シルエットクイズを通して, 動物の名前を復習することで, 児童が楽しいと感じる展開を進め, 今後の活動に関心をもつようにする。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 活動の途中で仲間の良い姿や表現を本時のキーワードと関連付けて学級全体に伝えることで, めあてを達成するために, 具体的に何をすればよいのか, さらに気づくことができる。 <p>〈研究内容2にかかわって〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2つの約束を決めてより多くの仲間と対話ができるようにし, "What animal do you want?" "I want ~." の表現に慣れ親しむことができるようにする。 ・ 学級でオリジナル動物園を伝え合うことで, オリジナル動物園をつくり上げることができたと気づけるようにする。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>評価規準</p> <p>自分のオリジナル動物園を作るために, 相手に伝わるように工夫しながら, 自分の好きな動物をもらうために相手に尋ねたり答えたりして伝え合っている。</p> <p style="text-align: right;">【思考・判断・表現】 (行動観察)</p> </div>

1年3組 外国語活動学習指導案

1 単元名

いろであそぼう

2 単元指導計画 (全3時間)

〈研究内容1にかかわって〉

本単元では、学級の仲間と好きな色や嫌いな色を伝え合い、単元の終末で「1-3 学級目標ステッカー」に用いたい配色を決める活動を行う。みんなの色の好みを知り、配色を決めていくために情報を集めていく、という学習の見通しをもちながら、単位時間ごとに設定されたキーワードによって、活動の目的や内容の理解をより深められるようにしていく。

評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
日本語と英語の音声の違いに気付き、色の言い方や、好き嫌いかを尋ねたり答えたりすることに慣れ親しんでいる。	好きな色の組み合わせを見つけるために、相手に伝えるように工夫しながら、配色について尋ねたり答えたりして伝え合っている。	「1-3 学級目標ステッカー」をつくるために、配色の好き嫌いについて尋ねたり答えたりしようとしている。

時	学習のねらい 【キーワード】	学習課題及びまとめの例	評価規準 (方法)
1	<p>ゲームを通して、色を表す日本語と英語との音声の違いに気付き、「I like~/I don't like~.」という表現を用いて、好きな色や嫌いな色について話すことができる。</p> <p>【色の言い方を知るために、ゆっくりはっきり うんうん】</p>	<p>1 Hello Time 2 Small Talk 3 Today' s Aim</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px 0;">色の言い方を知ろう</div> <p>4 Challenge Time and Share Time 5 Comment Time</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px 0;"> ・英語で色の言い方が分かった。 ・自分の好きな色や嫌いな色を話すことができた。 </div>	<p>・日本語と英語の音声の違いに気付き、色の言い方や、好きな色や嫌いな色について話すことに慣れ親しんでいる。</p> <p>【知識・技能】 (対話、行動観察、プリント)</p>
2		本時	
3	<p>「学級目標ステッカー」を作るために、その色の組み合わせが好きか嫌いかを尋ねたり答えたりして伝える活動を通して、「Do you like ~?」「Yes, I do. / No, I don't.」の表現に慣れ親しみ、仲間についての情報を集めることができる。</p> <p>【1-3の学級目標ステッカーの色の組み合わせナンバーワンを決めるために、かくにんしながらゆっくりはっきり】</p>	<p>1 Hello Time 2 Song「Color Song♪」 3 Today' s Aim</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px 0;">「1-3 学級目標ステッカー」の、色の組み合わせナンバー1を決めよう</div> <p>4 Challenge Time and Share Time 5 Comment Time</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px 0;"> ・楽しくゲームができたし、たくさん話せてよかった。 ・人気のある、色の組に合わせが分かって、うれしかった。 </div>	<p>・好きな色の組み合わせを見つけるために、相手に伝えるように工夫しながら、配色について尋ねたり答えたりして伝え合っている。</p> <p>【思考・判断・表現】 (対話、行動観察、プリント)</p>

3 本時の展開 (2/3時)

<p>本時のねらい</p>	<p>「好きな色ランキング」をつくるために、その色が好きか嫌いかを尋ねたり答えたりして伝え合う活動を通して、“Do you like ~?” “Yes, I do. / No, I don't.” の表現に慣れ親しみ、情報を集めることができる。(知識・技能)</p> <p>本時のキーワード 1-3 好きな色ベスト3を決めるために、ゆっくり、はっきり、うんうん</p>
<p>学 習 活 動</p>	<p>研究にかかわって</p>
<p>1 Hello Time 簡単なあいさつをする。</p> <p>2 Song Color Song♪</p> <p>3 Today's Aim</p> <div data-bbox="268 600 943 689" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>「1-3 好きな色ランキング」 人気のある色を調べよう。</p> </div> <p>・学級目標のステッカーに使う3色を選ぶために、友達に好きな色をたずねることをおさえる。</p> <p>4 Challenge Time and Share Time</p> <p>・色の名前や、“Do you like ~?” という質問の表現、“Yes, I do. / No, I don't.” と答える表現の言い方に慣れる。</p> <div data-bbox="199 884 1034 1160" style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>AB: Hello. A: Do you like <u>pink</u>? B: Yes, I do. I like peach. A: OK. B: Do you like <u>blue</u>? A: No, I don't. B: OK. AB: See you.</p> <div data-bbox="518 913 826 1115" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>red, blue, yellow, white, black, green, orange, pink, purple, brown, light blue, yellow green</p> </div> <p style="font-size: small; margin-left: 10px;">学級目標に使う3色</p>  </div> <p>・インタビューすることになった色について、好きか嫌いかを相手に尋ねて、それに答えてもらう、という対話を繰り返す。</p> <p>・1人1つの色を担当する。集めた情報から、好きと答えた人数を計算し、学級の順位をつけたり、予想と結果を比べてみたりする。</p> <p>・Share Time の時間に、仲間のよい姿や表現を学級で共有し、Challenge Time につなげる。また、さらに使えるとよい表現があれば確認する。</p> <p>5 Comment Time</p> <p>・色の表現を正しく使えたのか確認する。</p> <p>・キーワードを使って、やりとりができた姿を価値づける。</p> <div data-bbox="231 1585 997 1720" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>・みんなの好きな色が分かって、うれしかった。 ・友達の話していることが聞き取れて、分かった。 ・好きな色と、一文を付け加えて言えてよかった。</p> </div>	<p>〈研究内容1にかかわって〉</p> <p>・「1-3の好きな色ランキング」をつくるために、「その色が好きか嫌いかを“Do you like ~?” “Yes, I do. / No, I don't.” の表現を用いて尋ねたり答えたりして伝え合うこと」を目指すので、「色」の表現に前時までに少しずつ慣れ親しみ、本時でそれらを使って「すきか・きらいか」のやり取りをすることを示す。</p> <p>〈研究内容2にかかわって〉</p> <p>・「1-3の好きな色ランキング」をつくるという目的で、その色が好きか苦手かを尋ねたり答えたりするという場面を設定する。その際に友達とやりとりの中で、どのような姿をめざすのか児童と一緒にキーワードを確認する。</p> <p>〈研究内容2にかかわって〉</p> <p>・会話表現の中で、色の部分をはっきりいったり、相手の答えに相槌をうつ姿など、仲間のよい姿や表現から学ぶ場を設け、キーワードを意識しながら対話できるようにする。</p> <div data-bbox="1050 1433 1401 1780" style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>評価規準</p> <p>・“Do you like ~?” “Yes, I do. / No, I don't.” の表現を用いて、色について好きか嫌いかを尋ねたり、答えたりすることに慣れ親しんでいる。</p> <p>【知識・技能】 (行動観察、プリント)</p> </div>

4年3組 外国語活動学習指導案

1 単元名 Unit7 What do you want?

2 単元について

本題材は、平成 29 年告示の学習指導要領【各言語の目標及び内容等】(1) イ聞くこと (3) ウ話すこと[発表]に基づいて設定する。

(1)聞くこと

イ ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、具体的な情報を聞き取ることができるようにする。

(3) 話すこと[発表]

ウ 身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。

4年生の外国語活動も後半に入っているこの時期、児童はずいぶん英語の音声や基本的な表現に慣れ親しみ、友達や指導者と簡単なコミュニケーションを図る体験を積み重ねてきている。そこで、それを踏まえ、本単元では、児童がそれまでに慣れ親しんだ語彙や表現も使って、児童同士で二往復以上のやり取りをするよう活動を設定する。何往復かのやり取りを経験し、言葉で通じ合うことの楽しさを十分に感じさせたい。二往復以上のやり取りを実現するために、題材を児童の興味・関心が高い食材とした。また、扱う言語材料は、What do you want? I want~,please.だけでなく、How many~? Do you like~? など、これまでに慣れ親しんだ表現を扱う場面を設定する。What do you want? ~,please.はすでに3年生で慣れ親しんでいる。そのことを踏まえ、本単元では、答え方をフレーズではなく、文表現とした。このことは、5年生以降での教科学習においての文構造への気付きにつながることを期待される。

3 子どもの実態

4 研究内容にかかわって

研究内容1：教科の本質に基づく「キーワード」の設定及びそれを軸とした授業設計

単位時間ごとの役割（位置付け）に応じたキーワードの設定

本校におけるキーワードとは、「単位時間や単元の学習で、その言葉を意識することにより学びが深まったといえる言葉」である。外国語科部では、キーワードの捉えを「教師が子どもの目指す姿を明確にして、コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、情報を整理しながら考えなどを形成したり、再構築したりするための言葉」とした。目的の達成に向けて、子どもが表現する情報や考えなどを試行錯誤する過程が、深い学びの実現につながる。そのために、教師は、交流の際に言語面と内容面の指導を行う。

本時では、オリジナルのパフェを作成し、それを紹介する。そのために、選んだ食材と個数の「何をいくつ分」と、選んだ理由にあたる「好み、旬」、相手になぜその食材を選んだか尋ねる「Why」の3種類をキーワードとして設定する。

研究内容2：「キーワード」を軸にした指導方法の工夫

(1)「やってみたい」と思える言語活動の目的や場面、状況等の設定の工夫

何のために、どのような場面で、どのような状況で行われるコミュニケーションであるかを設定することは、外国語を使用する具体的なシチュエーションを児童に思い描かせ、目的をもって取り組むことにつながり、主体的な姿勢を生み出すことができると考える。

言語活動の目的や場面、状況の設定に関して、学習指導要領解説では以下のことが示されている。

外国語活動における言語活動を使用する場面を設定し、実際に言語を使用して互いの気持ちを伝え合う活動の実現に向けた学習過程に、「①児童が設定されたコミュニケーションの目的や場面、状況等を理解する②目的に応じて情報や意見などを発信するまでの方向性を決定し、コミュニケーションの見通しを立てる③目的達成のため、具体的なコミュニケーションを行う④言語面・内容面で自ら学習のまとめと振り返りを行う」と示されている。

このことを踏まえて、本単元では、①として、自分で料理を決め、そのための材料を集める。②として、終末の活動のために必要と思われる語句や基本的な表現を様々な活動を通して学習していく。そうした目的の達成のために③については、様々なコミュニケーションの実践を通して、表現の定着を図る活動を仕組む。④視点を設定した振り返りシートを活用し、仲間とのやり取りを通して感じたことや自分の姿の変容を記録したり児童が自らの伸びを実感できたりするようにする。

(2) 対話を広げていくための英語表現や内容を全体で交流する場 (Share Time) の設定

Share Time は、対話活動の中で、児童の中から生まれたよさや疑問を広めたり、指導したことを意図的に位置付けたりする機会としている。本時の課題達成のため、対話活動に取り組む中で、Share Time を設け、そこで、以下の具体的な方途を意図的に指導している。

①会話の仕方に困っている児童のために、英語表現を全体で再確認する。②課題達成に向けて、言語面と内容面の良い姿を広める。③相手に新しい質問や説明する一言を加えて、会話がより深まるようにする。

5 単元指導計画 (全5時間)

本単元では、欲しい物食材を尋ねたり要求したりする表現を用いて、自分で料理を決め、食材を集める活動を行う。そのために、欲しい食材や個数を正確にやり取りする必要がある。そこで、キーワードを「何をいくつ分、おすすめポイント、Why、好み」と設定した。キーワードを意識することで、欲しい食材を要求する方と尋ねる方で何を何個分どうしたいかを正確に共有することができる。そのことが、英語表現を用いて、オリジナルのメニューを作成できると共に、コミュニケーションの内容や単元の学習などが深まることにもつながる。

評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
食材の言い方や、欲しい物を尋ねたり要求したりする表現に慣れ親しむ。	欲しい食材などを尋ねたり要求したりするとともに、考えたメニューを紹介しあう。	相手に配慮しながら、自分のオリジナルのメニューを紹介しようとする。

時	学習のねらい 【キーワード】	学習課題及びまとめの例	知 技	思 判 能	態 度	評価規準（方法）
1	日本語と英語の音声の違いに気付くとともに、食材を表す言い方を知る。 【アクセント、発音の違い】	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">いろいろな食材の英語の言い方を知ろう。</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">いろいろな食材の英語の言い方が分かった。このことを生かして、メニュー作りをしたい。</div>				・本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。
2	食べ物について、欲しい物を尋ねたり要求したりする表現に慣れ親しむ。 【オウム返し、何をいくつ分】	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">いろいろなパフェやピザを作ってみよう。</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">モデルになっているパフェやピザを作ることを通して、相手に欲しい物を尋ねたり要求したりする表現を知ることができた。このことを生かして、オリジナルのパフェを作ってみよう。</div>	開			・What do you want? I want (a melon). などの表現を使って欲しいものを尋ねたり答えたりしている。 【知識・技能】 (行動観察、振り返りシート)
3	本時		発 発 発			
4	オリジナルのメニューの作成に向けて、材料（○○料理の○○材料）を集めるために、欲しい食材について尋ねたり要求したりして伝え合うことができる。 【オウム返し、何をいくつ分】	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">オリジナルのメニューを作ろう。</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">メニューに必要な材料を集めることや新しい食材の英語の言い方を知ることができて良かった。次は、このメニューと、おすすめポイントについて説明したい。</div>				・本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。
5	作成したオリジナルのメニューについて紹介する。 【おすすめポイント、Why好き】	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">オリジナルのメニューについて紹介しよう。</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">オリジナルのメニューを紹介することができた。単元を通して、欲しい物の言い方や仲間の好きな食べ物について知ることができて良かった。</div>	発	発	発	・オリジナルのメニューについて紹介するために、相手に伝わるように工夫しながら、伝え合っている。【思考・判断・表現力等】(行動観察・振り返りシート)

6 本時の展開 (3/5時)

本時のねらい	自分で考えたパフェを紹介するために、I want/I like などを用いて相手に伝わるように工夫しながらパフェについて紹介する。(思考・判断・表現)	
	本時のキーワード (自分のパフェのよさを伝えるために) 何をいくつか, Why, 好み, 旬	
	学 習 活 動	研究にかかわって
1 Hello Time 2 Small Talk ALT と HLT のオリジナルのパフェについて紹介 3 Today's Aim	オリジナルのパフェについて紹介しよう。	<p>〈研究内容1にかかわって〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分で考えたパフェについて紹介するために、I want/I like などの表現を用いてパフェの具材や理由を伝え合うことを目指す。そのため、伝える方は、何をいくつか必要なのか、ゆっくりとはきはきと話す。聞く方は、相手に感想を伝えるなどして、相手に配慮しながらコミュニケーションを図る。
4 Challenge Time and Share Time オリジナルのパフェについて紹介 (1) パフェの作成 (2) パフェの紹介	<p>A: This is my parfait. I want (a banana). I want (two melons). I want (a pineapple)... I like apples. I want many apples. 冬の旬だから、I want (kiwi fruits). B: It's (nice, cute)!</p> <p>AB: Change</p>	<p>〈研究内容2にかかわって〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 活動の目的を「自分で考えたパフェについて紹介する」と設定し、児童が、目的意識をもち意欲的に活動したり、伝える相手がいることで、相手意識をもって活動したりできるようにする。 児童がどのようなことを伝えようとしているかをあらかじめ予想しておき、児童の様子を見ながら Share Time で何を広めたり、確認したりするかを準備する。
	<p><Share Time1></p> <ul style="list-style-type: none"> 紹介する方法に困っている子どものために、英語表現を全体で確認する。 選んだ理由を付けて紹介している子を紹介する。 <p><Share Time2></p> <ul style="list-style-type: none"> 紹介するための英語表現が定着していない児童のために、再度確認する。 「Why」などの交流が深めるような質問の英語表現を確認する。 相手から聞いた興味深い理由を交流する。 <p><Share Time3></p> <ul style="list-style-type: none"> 交流を深めるための良い英語表現や疑問を解決するための英語表現などを確認する。 スクランブル交流の前に、「これは誰のパフェでしょうクイズ」を行う。 	
5 Comment Time	<ul style="list-style-type: none"> 英語でパフェについて紹介することができて良かった。 仲間のパフェについて知ることができて良かった。 自分で考えたパフェを作ってみたい。 	<p>評価規準</p> <p>自分で考えたパフェについて紹介するために、相手に伝わるように工夫しながら紹介している。</p> <p>【思考・判断・表現】 (行動観察・振り返りシート)</p>

6年2組 外国語科学習指導案

1 単元名 Lesson5 Where do you want to go ?

2 単元について

本単元は、学習指導要領では、次のように設定されている。

(1) 聞くこと

ア ゆっくりとはっきりと話されれば、自分のことや身近で簡単な事柄について簡単な語句や基本的な表現を聞き取ることができるようにする。

(2) 話すこと[やりとり]

ウ 自分や相手のこと及び身の回りのものに関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いてその場で質問したり質問に答えたりして、伝え合うことができるようにする。

(3) 話すこと[発表]

イ 自分のことについて、伝えようとする内容を整理した上で、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。

(4) 書くこと

イ 自分のことや身近で簡単な事柄について、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことができるようにする。

本単元では、行ってみたい国とその国でしてみたいことやできることなどを伝え合う活動をする。近年、テレビやインターネットなどから世界の国々のことについてさまざまな知識や情報を得ている子どもも多い。教科書にある世界各国の国旗、特色ある自然や建造物、食べ物などの写真を見て、学習への期待感は高くなると予想される。他教科と関連付けたり、タブレット端末図書館での調べ学習を取り入れたりすることで、教科横断的に学習を進展させ、子どもの視野を世界へと広げる単元としていきたい。

「～行ってみたい」「～してみたい」「そこでは～ができる」などが本単元の主要表現である。指導者との会話から表現や語句に出合わせ、さまざまな活動を取り入れながら、伝え合う楽しさとともに言語活動に対する意欲を高めたい。また、単元末では、慣れ親しんできた表現を使って自分の考えや気持ちを書くことへとつなげていきたい。

3 子どもの実態

4 研究内容にかかわって

研究内容1：教科の本質に基づく「キーワード」の設定及びそれを軸とした授業設計

単位時間ごとの役割（位置づけ）に応じたキーワードの設定

本校におけるキーワードとは、「単位時間や単元の学習で、その言葉を意識することにより学びが深まったといえる言葉」である。外国語科部では、キーワードの捉えを「教師が目指す姿を明確にして、目的や場面、状況に応じて、情報を整理しながら考えなどを形成したり、再構築したりするための言葉」とした。目的の達成のために、子どもが表現する情報や考えなどを試行錯誤する過程が深い学びであると考える。そのために、交流の際に言語面と内容面の指導を行う。

本時では、自分の行きたい国を相手のニーズに合わせて紹介する活動を行う。相手のニーズは何かを考えさせるには、Do you like～? What food do you like～?の表現を使うことを子どもが気付けるようにするとともに、相手のニーズに合った、国を紹介していけるようにしたい。また、人に伝えるには、相手に気にしてもらえらるよう推す力が必要だと考える。また、内容を詳しくして伝えることは重要だと考える。そこで、本時のキーワードを「相手のニーズにあっているか、推し力、内容」と設定した。

研究内容2：「キーワード」を軸にした指導方法の工夫

(1)「やってみたい」と思える言語活動の目的や場面、状況等の設定の工夫

何のために、どのような場面で、どのような状況で行われるコミュニケーションであるかを設定することは、外国語を使用する具体的なシチュエーションを子どもに思い描かせ、目的をもって取り組むことにつながり、主体的な姿勢を生み出すことができると考える。

言語活動の目的や場面、状況の設定に関して、学習指導要領解説では以下のことが示されている。

外国語活動における言語活動を使用する場面を設定し、実際に言語を使用して互いの気持ちを伝える活動の実現に向けた学習過程に、「①子どもが設定されたコミュニケーションの目的や場面、状況等を理解する②目的に応じて情報や意見などを発信するまでの方向性を決定し、コミュニケーションの見通しを立てる③目的達成のため、具体的なコミュニケーションを行う④言語面・内容面で自ら学習のまとめと振り返りを行う」と示されている

このことを踏まえて、本単元では、①として、テーマを決めておすすめ国を紹介するプランを作る。②として、終末の活動のために必要と思われる語句や基本的な表現を様々な活動を通して学習していく。そうした目的の達成のために③については、様々なコミュニケーションの実践を通して、表現の定着を図る活動を仕組む。④視点を設定した振り返りシートを活用し、仲間とのやり取りを通して感じたことや自分の姿の変容を記録したり子どもが自らの伸びを実感できたりするようにする。

(2)対話を広げていくための英語表現や内容を全体で交流する場（Share Time）の設定

Share Time は、対話活動の中で、子どもの中から生まれたよさや疑問を広めたり、指導したことを意図的に位置付けたりする機会としている。対話活動に取り組む中で、Share Time を何度か設け、本時の課題達成のための具体的な方途を意図的に指導している。

5 単元指導計画（全8時間）

第1時の時に単元のゴールを伝える。目的や場面、状況に応じて情報を整理しながら試行錯誤して自分の考えを再構築して深い学びになるようにしていきたい。本時では、相手のニーズに合っているかをキーワードとして提示し、ニーズに合わせた国の紹介を大切にする。

評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
Where do you want to go? I want to go to ~. You can see~. Why?及びその関連語句などについて理解している。	相手のことをよく知るために、行きたい国とその理由について、短い話を聞いて、具体的な情報を聞き取ったり、概要を捉えたりしている。	互いのことをよく知るために、行きたい国とそこでしたいことやできることなどについて、尋ねたり答えたりして伝え合おうとしている。

時	学習のねらい 【キーワード】	学習課題及びまとめの例	評価（方法）			
			知	思	能	
1・2	HRTとALTの好きな都道府県の紹介を聞く活動を通して、単元の見通しをもつとともに、世界の様々な国の言い方や行きたい国を伝える表現を理解することができる。 【推し力、内容、ニーズにあっているか】	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">単元の見通しを学び、単元の目標を共有しよう。</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">行きたい国の魅力を伝えるために、押し力、内容、相手のニーズに合うかどうかを大切に、文章を作ればよいということを学んだ。</div>	知	思	能	<p>行きたい国の魅力を伝えるために、推し力、内容、相手のニーズに合うかどうかを大切に文章を作ればよいということを学んだ</p> <p>【思考・判断・表現】（発言、ノート）</p>
3	行きたい国とそこでしたいことを伝える表現を理解することができる。 【繰り返し、定着】	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">行きたい国とそこでしたいことを聞いたり伝え合ったりしよう。</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">行きたい国とそこでしたいことを聞いたり伝えあったりすることができる。</div>	や	や		<p>Where do you want to go?</p> <p>I want to go to ～の表現を覚えて使っている。</p> <p>【知識・技能】（交流、ふりかえり）</p>
4	行きたい国とそこでできることなどについて、具体的な内容を聞き取ったり、伝えあったりすることができる。 【相手の反応】	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">行きたい国とそこでしたいことをたずねたり答えたりしよう。</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">行きたい国とそこでしたいことをたずねたり答えたりすることができる。</div>	や		発	<p>Where do you want to go?</p> <p>I want to go to 【see/watch】の表現を使うことができる。</p> <p>【知識・技能】（交流、ふりかえり）</p>
5	相手のことをよく知るために、行きたい国とその理由について、具体的な情報を聞き取ったり概要を捉えたり、互いのことをよく知るために行きたい国でできることなどを伝え合うことができる。 【何ができるか考える】	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">行きたい国でできることを聞いたり、伝えあったりしよう。</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">自分が行きたい国についてできることを話したり伝えたりすることができる。</div>	や		発	<p>Where do you want to go?</p> <p>I want to go to ～.</p> <p>You can see ～.</p> <p>Why?</p> <p>It's great.の表現を使うことができる。</p> <p>【知識・技能】（発言、ノート）</p>
6	行きたい国について資料を準備して、自分の推し活プランを紹介しよう。 【相手のニーズに合わせて】	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">発表に向けて、準備写真や資料の準備をし、練習しよう。</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">自分の推し活プランを作ることができる。</div>	や	や		<p>What do you want to do?</p> <p>I want to 【see, eat】の表現を使うことができる。</p> <p>【思考・判断・表現】（発言、ノート）</p>
7		本時	発	発		
8	今までのまとめをする 【まとめ】	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">今まで学習して学んだことをまとめよう。</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">学習のまとめをする。</div>			書	<p>単元を通して学んだことや感想をプリントに書くことができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p>

6 本時の展開 (7/8時)

<p>本時のねらい</p>	<p>自分のおすすめの国を紹介する活動を通して、星3つをとるためにはどうすればよいかを考え、相手に伝える。(思考・判断・表現) 本時のキーワード (自分のおすすめの国を紹介するために)相手のニーズにあっているか、推し力、内容</p>	
<p>学 習 活 動</p>		<p>研究にかかわって</p>
<p>1 Hello Time 挨拶をする 2 Small Talk: 本時の言語活動をHRTが掲示する。 HRTの発表 (写真なし)</p>		<p>〈研究内容1にかかわって〉 ・単元を通して、推し力、内容、相手のニーズあっているかの3つの視点を意識して授業をしてきたので、子どもからキーワードを言わせたい。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>Please visit Spain. You can enjoy many seafood dishes. You can see many beautiful place. It's great. Thank you.</p> </div>		<p>・HRTが発表したことに対するALTの評価は妥当であるか妥当でないかを問いかける。どうするとよいかは議論しない。</p>
<p>ALTの評価 推し力 ☆1 内容 ☆1 ニーズ ☆1 星の数を増やすにはどうすればよいか?</p>		<p>・share timeの時に、キーワードに立ち返り、文章を正しく言えるように伝えること、You can ~.の表現を増やすことなどが星を増やす上で大切であることを確認する。わからない子はペアに聞く。それでもわからなければ、教師と考える。</p>
<p>3 Today's Aim</p>		
<p>3つ星をもらうために、自分の推し活プランの魅力を紹介しよう。</p>		
<p>キーワード揭示 ①相手のニーズにあっているか ②内容 You can ~. ③推し力 熱量、目線、表情、写真など</p>		<p>〈研究内容2にかかわって〉 ・ニーズにあった話ができているかを確認する。話題をいくつか用意しておくことで、相手のニーズに合わせた紹介ができるようにする。</p>
<p>4 Challenge Time and Share Time ペア (横) (推し力 2 内容 2 ニーズ 1)</p>		
<p>・自分が3つ星をとるためにどんなことをすればよいかを考え、文章を修正する。 ・スクランブル交流を行う。必要があれば、修正をして対話活動をする。</p>		<p>・英語が苦手な子どもは3つの視点を頑張るのではなく、目線を上げて話すことや、写真をつけ加えて分かりやすくするなど本人ができそうなことをやらせていく。できたことを価値付けていく。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>A: Please visit Spain. A: You can eat seafood dishes. It's delicious. A: You can enjoy Togyu. Do you like Togyu? B: No, I don't. A: Oh, really? Do you like soccer? B: Yes, I do. I like soccer. A: Spain is strong. B: I see.</p> </div>		
<p>5 Comment Time ・ふりかえりを書く。</p>		
<p>・目線を上げて相手に伝わるようなスピードで話すと、推し力の星の数が増えたので、嬉しかった。 ・その国でできることを数文増やして、詳しく言うことで、内容の星の数が増えた。 ・相手のニーズに合っていないときは、話す内容を変えて相手のニーズに合わせた話をするので、星の数が増えた。</p>		<p>評価規準 【話す(発表)】 3つ星をもらうために、何が必要かを考えて、おすすめ国を伝え合っている。 【思考・判断・表現】 (行動観察、プリント)</p>